

加茂市



議会だより

第175号

平成24年4月30日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL 0256-52-0080 (代表)

FAX 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp



〈主な内容〉

平成24年度予算決まる …… (2)

市税条例など決まる …… (3)

委員会の審査から …… (3)

11人が一般質問に登壇 …… (4)

議決状況一覧表 …… (8)

春の訪れをつげる

雪どけの流れ

平成24年度予算決まる

予算総額 一般会計 1.6%増 227億円

予算議会ともいわれる3月定例市議会は、6日に招集され22日まで会期17日間で開かれました。この定例会では、総額227億円となる平成24年度一般会計・特別会計予算と水道事業会計予算をはじめ、条例の改正など市長提出32件を慎重に審議の結果、すべて承認、原案可決しました。

市長は施政方針演説で、「市民のアイデアに基づく市政により、日本のトップクラスの福祉、児童福祉、健康施策のまち、日本で最も商工業と農業が守られているまち、日本で最も自然環境が保護されているまちとなりました。また、本年度は、救命救急センターを加茂病院に併設することに全力を挙げ、また、

県の認可がおりれば、特別養護老人ホーム第三平成園の後期工事、残りの五十床（シヨートステイ十床）に着工したいと思えます。」と決意を述べました。

平成二十四年度の一般会計と六特別会計を合わせた予算の総額は、二百二十七億三千七百万円で、前年度より二・九%の増となりました。

一般会計 予算規模は、百三十六億四千万円で、前年度より一・六%の増となっています。

歳出の主なものは、民生費が三十八億三千三百五十五万四千円で、全体の二八・一%を占め一番多くなっています。

国保特別会計 予算の総額は、三十二億一千十三万六千円で、前年度より二・三%の増となっています。

歳出の主な内容は、保険給付費二十億六千八百九十五万一千円などです。

後期高齢者特別会計 予算の総額は二億八千七十六万三千円で、前年度より、二・二%の増となっています。

歳出の主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金二億六千八百四十六万円などです。

宅造特別会計 予算の総額は三億五千六万四千円で、前年度と同額です。

歳出の主な内容は、用地購入費三億円などです。

下水道特別会計 予算の総額は、十九億七千八百五十五万八千円で、前年度より一・〇%の増となっています。

歳出の主な内容は、補助事業

五億一千三百万円などです。

介護保険特別会計 予算の総額は二十七億七千二百六十万二千円で、前年度より、二・六%の増となっています。

歳出の主な内容は、保険給付費二十六億五千五百四十五万五千円などです。

在宅介護サービス特別会計 予算の総額は、五億四百六十四万四千円で、前年度より、六・二%の増となっています。

歳出の主な内容は、訪問介護事業費二億三千五百六十五万五千円などです。

水道事業会計 収益的収支では、三千三百七十二万四千円の当年度純損失が生じますが、これは損益勘定留保資金でカバーされます。

歳出の主な内容は、補助事業

区分	予算額	伸率	
一般会計	13,640,000	1.6	
特別会計	国民健康保険	3,210,136	2.3
	後期高齢者医療	280,763	2.2
	宅地造成事業	350,064	0.0
	下水道事業	1,978,558	1.0
	介護保険	2,772,602	12.6
	在宅介護サービス	504,644	6.2
合計	22,736,767	2.9	
水道事業会計	707,298	△3.6	

また、資本的収支では、一億一千百三十四万三千円の不足額が生じますが、これは、損益勘定留保資金などにより補てんするものです。

4月臨時議会 四月二十四日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案四件を承認、原案可決しました。

そのうち、一般会計補正予算は、農業制度資金推進費三十六万四千円を増額するものです。



市税条例など決まる

平成二十四年度の各会計当初予算を除く市長提出議案の主な内容は、次のとおりです。

条例改正

新潟県加茂市税 条例の一部改正は、個人住民税の退職所得に係る一〇％税額控除の廃止、市たばこ税の税率の改正等の規定を整備するものです。

加茂市市民福祉交流センター 条例の一部改正は、市民福祉交流センターの温泉井戸の維持管理費に充てるため、大人（中学生以上）の入館料を百円増額し、あわせて、利用回数券（十一回券）も一千百円増額したいというものです。

新潟県加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正は、平成二十三年度に行った七十歳代前半の被保険者に係る一部負担金の軽減特例措置を平成二十四年度も継続するため、改正するものです。

加茂市介護保険条例の一部改正は、三年に一回の介護保険事業計画の改定期にあたり、介護保険料の見直しを行うものです。加茂市墓地等の経営の許可に関する条例の制定、加茂市における公有地の拡大の推進に関する法律施行令第三条第三項ただし書に規定する区域及び規模を

定める条例の制定、加茂市公民館条例の一部改正、加茂市立図書館条例の一部改正及び加茂市営住宅条例の一部改正の五件については、平成二十三年五月二日及び同年八月三十日に「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」が公布され、関係各法が改正されたことに伴い、改正するものです。

定める条例の制定、加茂市公民館条例の一部改正、加茂市立図書館条例の一部改正及び加茂市営住宅条例の一部改正の五件については、平成二十三年五月二日及び同年八月三十日に「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」が公布され、関係各法が改正されたことに伴い、改正するものです。

二十四年度補正予算

一般 一 一般 一号・二号で一億七千五百七十七万二千円を増額し、予算の総額を百三十八億一千五百七十七万二千円とするものです。

歳出の主な内容は、市史編さん費一千百一十一万二千円、緊急雇用創出事業一億六千四百五十九万円を増額するものです。

二十三年度補正予算

一般 一 一般 第三十号・第三十一号で一億二千五百一十八万八千円を増額し、予算の総額を百五十二億五千二百七十九万二千円とするものです。

歳出の主な内容は、退職手当

道路除雪費などを増額し、消防衛生組合負担金などを減額するものです。

特別会計では、国民健康保険は、保険給付費六千八百六十六万四千円などを増額するものです。下水道事業特別会計は、職員人件費十萬四千円を増額するものです。

介護保険特別会計は、保険給付費九千九百七十七万七千円を増額するものです。

在宅介護サービス事業は、一般会計繰出金二千五百万円を増額するものです。

規約の変更

新潟県中越福祉事務組合規約の変更は、児童福祉法及び障害者自立支援法の改正により、事務の名称が変わるため、組合規約の一部を変更するものです。

市道路線

市道路線の付け替え、地元の要望



産業建設常任委員会の現地視察 (柳町・市道認定箇所)

に伴い、市道路線の変更及び認定をするものです。

委員会の審査から

各委員会に付託された議案は、3月12日から19日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、すべて原案可決すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

三月十二日と十三日の両日委員会を開催し、市道路線の認定箇所等の現地視察を行った後、

社会厚生常任委員会

三月十四日と十五日の両日委員会を開催し、国民健康保険特別会計予算など付託された議案十五件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、いずれも全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、一般会計予算のうち所管の部分など二件については、質疑、討論がなされ、起立採決の結果、原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

三月十六日と十九日の両日委員会を開催し、一般会計予算など付託された議案七件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、いずれも全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

加茂市のこれからの行政事業のあり方について

新政クラブ 高井 保 議員

質問 ① 行政とは、常に次の世代にバトンを渡すためにあると考えている。市長は、この加茂市の十年、二十年先をどんな形で見て、どんな姿の加茂市をバトンタッチしたいのか。

② 十年、二十年先の病院建設も大事であるが、それまでの間、救急車の中で待たされることのないよう、また、たらい回しされることのないよう、県央応急診療所の活用を考えるべきと思うがどうか。

③ 西加茂は地盤沈下するので、消雪パイプの敷設には消極的であるが、豪雪地の除雪の対応をどのように考えているか。

答弁 ① 加茂市は、次のようであり続けなければならないと考えている。(1)合併されて消滅してはならない。北越の小京都として、独立を堅持しなければならない。(2)日本一の福祉のまち、日本一の商工業が守られているまち、日本一農業が守られているまち、日本一自然環境が守られているまち、日本一の教育水準のまちであり続けなければならない。諸団体等へは、十

分な補助金が交付されなければならない。

② 救急患者を救急病院でない応急診療所へ搬送することは、あつてはならないことである。

③ 除雪を委託している建設業者等のマンパワーと除雪機械の確保が重要であると考えている。西加茂地内のほとんどの地域は、地盤沈下のおそれがあるので、新規の消雪パイプの敷設を行っている。

扶養控除廃止に伴う子育て世代への影響とその対応について

大志の会 滝沢茂秋 議員

質問 ① 今回の子ども手当改正と扶養控除の廃止、縮小についてどのように考えているか。

② 扶養控除廃止、縮小による影響がないよう、保育所徴収基準額表の改正の必要を感じているが、どのようにするか。

③ 緊急雇用創出事業により、

一月から始まった紙すき事業であるが、募集時、平成二十四年三月末までの雇用契約となっていた。その後については、どのように考えているか。

④ 学校授業の際に、紙すき体験を子供たちにももらいたいと思うがどうか。

答弁 ① 速やかに子ども手当を満額支給に改正するとともに、扶養控除ももとに戻すよう改正すべきであると考えている。

② 保育料は扶養控除廃止の影響を受けないように、扶養控除見直し前の旧税額で算定するよう厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知が発せられているので、加茂市としてもそのように対応したいと考えている。

③ 平成二十三年度の緊急雇用創出事業については、三月末までであるが、平成二十四年度の緊急雇用創出事業については、雇用期間が最長一年であるということから、四月から十二月までの九カ月間、現在従事されている方々全員が引き続き継続することが、県と国によって認められて、市議会三月定例会に平成二十四年度補正予算として提案している。

④ 貴重な意見として承っており、

市政の内容を聞く

一般質問

三月定例会では初日から十一人の議員が

一般質問を行い市政全般についての所見や執行状況を問いただしました。その要点をお知らせします。



3月定例会本会議

地名を地域振興に活用する工夫について

市政クラブ 広野豊作 議員

質問 ① 加茂市は、小京都を名乗るがごとく歴史的文化財に恵まれている。長年大切にしてきた文化を掘り起こして新たな発展に活用できればと考える。加茂山ハイキングコースに延長させて秋房かいわいに休憩所をつくり、狭口一带の観光を促進する拠点の設備を願う。その施設が道の駅的な休憩所であり、

具体的な方策がロマン追求型の交流観光であるが、実現の可能性と見通しについて伺う。

② 市内には、命名の起源になぞめいた神秘性を感じる地名が多数ある。それらの地名についても具体化させたいと考えているが、所見を伺う。

答弁 ① 県道沿いに設置する施設であるから、利用される方

の利便性を考えると、それなりの台数の車が駐車できるスペースが必要になるかと思う。また、休憩所として活用していたために、トイレ等の設備も含めて、清潔さを保つなどの維持管理のための経費も必要になってくる。これらを考慮すると、かなりの費用が必要となると、かなりの費用が必要となると、かきつぱいと思われる。政府の極めて厳しい緊縮財政政策のもとで耐え抜いていかなければならない現状を考えると、すぐには難しいものと思う。

② 市内のあらゆる名所旧跡、ハイキングコースを網羅した本格的な案内書をつくることを目指したいと考えている。そのためには、今は膨大な加茂市史の作成に全力を挙げている。

詳しくは会議録で

三月定例会の会議録は、五月下旬に発行予定です。

図書館、勤労青少年ホーム、かも川荘、ゆきつばき荘、各「ミニコミュニティセンター」でらんくください。

なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でごらんください。

また、視察報告は、市議会ホームページでもごらんになります。

農・商・工連携による6次産業化について

大志の会 保坂裕一 議員

質問 ① 加茂市において、農林漁業従事者への6次産業化に対する国の法律や施策の周知を行っているか。

② 農林水産省は、6次産業化について農林水産分野を成長産業とするための柱と位置づけているように思われるが、これに向けた取り組みとして加茂市ではどのような支援を行っているか。

③ 今後の支援体制をどのように考えているか。

答弁 ① 農林水産省が作成した6次産業化のパンフレットを農林課の窓口においてある。農林水産省は、ホームページで山漁村の6次産業化の総合相談窓口の紹介や認定についてPRしている。

② 6次産業化法では地産地消もうたっているので、地元の加茂産コシヒカリを小中学校の児童生徒に食べていただくということで、小中学校の学校給食に対する補助を平成十三年度から実施している。また、平成三年度から実施している農業まつりについては、生産者、商店街及び消費者との触れ合いの場を提供している。

③ 加茂市は県下トップクラスの果樹のまちで、果樹農家には立派な若手後継者がそろっているが、市では農機具購入費補助により、しっかりと果樹農家を

広報かもについて

新政クラブ 安武秀敏 議員

質問 ① 広報かもは、余りにも発行がおくれるため、ほとんどの市民は読まず、捨てられたり、放置されている現状である。広報かもが発行日に関しては、毎月十五日と規定されており、市長の専権事項ではない。平成二十四年度から規程どおり発行するよう要望する。

② 平成二十三年度の広報かも印刷費の執行状況を聞く。

③ 日本広報協会、県広報協議会について聞く。

答弁 ① 広報かもについては、時期に間に合うようお知らせする必要がある事項は、すべて広報かもお知らせ版に掲載することになっているので、全く問題はない。

② 広報かもについて重要なこと

加茂川、下条川堤防かさ上げと諸問題について

市政クラブ 山田義栄 議員

支援するとともに、毎年一万箱を目標に新高ナシをゆうパックに乗せていただいている。これらについて、今後ともしっかりと実施していきたい。

は、発行日よりはその内容である。私が執筆している記事は私が心血を注いで書いているものであって、読まずにごみ箱へ捨てられるようないいかげんなものではない。その他の記事も同様である。

② 本日現在で一千二百十万五千九百六十七円となっている。

③ 日本広報協会は、広報に関する技術、資料の提供や著作権等についての相談業務、広報に関する調査研究、出版物の刊行、研究会その他各種研修会の開催などを主な事業としている。

新潟県広報協議会は、広報に関する研修会及び講演会の開催や講師のあっせん、資料収集などを支援することを目的に組織されている。

質問 ① 加茂川、下条川のかさ上げについては、既に実施されているところもあるが、今後の実施計画について聞く。

② 豪雨により、信濃川の水位が上昇し、加茂川への流入水量

天ヶ沢橋から上流の大平川の合流地点までの拡幅を含めた改修工事をするということであるが、事業内容と完成までの計画を聞く。

答弁 ① 平成二十一年度に諏訪ノ木橋下流左岸を施工し、二十二年年度に諏訪ノ木橋上流左岸、二十三年年度は千代橋上流右岸を施工している。二十四年度は、二十三年度の上流から大皆川合流点までを施工する予定である。

② 信濃川の水位が上昇することによって、加茂川の水位が上

長福寺区内の年配者が買い物等共同できるバス運行について

民主党 森川 豊 議員

昇し、加茂川への排水が困難になった場合、樋門を閉めたところでは内水が吐けなくなり、あふれる現象が発生すると思われる。樋門がないところでは逆流の発生が想定される。しかし、そういう事態はまだ発生していない。

質問 ① 長福寺区内は三十七世帯で、七十歳前後のひとり、高齢夫婦暮らしの十一世帯が生活している。四、九の市に毎月二回程度、買い出ししているが、往復の車代が多額の出費となっている。不定期バスの随時運行について検討をいただきたい。

② 上下条区内の法音寺上隣に市道法音寺脇線があり、この上流には溜池があるが、降雨により裏の山林からの濁流土によって埋め尽くされた。昨年と同規模の豪雨災害が発生しても、近隣人家へ被害が至らぬよう、検討をいただきたい。

③ 上興屋向の道城橋と下条大橋間で草刈作業が軽く済まされているが、内容を聞く。

答弁 ① 市日の買い物用に、一往復の便を月二回程度運行するやり方がよいのか、現在の市民バスのように毎日定時に運行するやり方がよいのか、さらに長福寺のほか、まだ市民バスがカバーしていない福島、西加茂、都ヶ丘、希望ヶ丘、八幡の各方面についてもあわせて考えなければならぬ。したがって、ここは状況を見きわめながらじっくりと検討していきたい。

② その部分は国から譲与を受けておらず、管理は加茂市で行えないが、雪消え後に現地を調査し、実際の位置、埋塞状況を把握していく。

③ 導城橋下流五十坪付近から害虫が発生しており、そこから下流に向かって除草作業を行ったものである。

若者などの定住の増加対策について

開明の会 田沢弘一 議員

質問 ① 二十二年十月の国政調査による加茂市の人口について、どのような感想を持っているか。

② 住宅新築奨励金は、一年分の固定資産税相当額が交付されるが、五年程度に延長し、二年から五年目は二分の一を交付したらどうか。

③ マイホーム支援資金については、お知らせ版に載っているが、ほかにどのような周知をしているのか。

④ ふるさと就職支援資金について、加茂市に転入された方に交付しているプリントに、この制度など有益なものを項目に加えたらどうか。

答弁 ① 全国的に首都圏以外の人口は、押しなべて減少傾向にあり、新潟県も人口は減少している中、加茂市が特に大幅に減少したということではなく、一般的に状況と考えている。

今加茂市に住んでいる方々お一人お一人を最大限お幸せにすることを専一に考えて、市政を推進していくことが肝要であって、あとは自然に任せていくのが一番よいと考えている。
② 政府の極めて厳しい緊縮財政政策のもとで、市の財政状況

は大変厳しいものとなっている。よって、交付期間の延長は実施できない状況である。

③ 市内各金融機関に制度の要綱及び窓口用のチラシを配付し

質問 ① 救命救急センターの加茂病院併設が実現した場合、高度医療のみを担当する基幹病院となるのか、従来どおり地域の医療を支える二次病院の機能も残した救命救急センター併設病院となるのか。県や県央の他市町村との間でどのような機能を持った病院の設置を計画しているのか、現在の合意内容について見解を聞く。

② 県央医師会応急診療所への救急搬送も地域医療確立に対する協力の一つであると思うが、今後利用する予定はあるか。

③ 加茂市民や県央の他市町村から救命救急センター誘致について、信頼を得るための方策を検討していれば聞きたい。

答弁 ① 高度医療のみでなく、

質問 ① 介護保険事業計画が明らかになったが、施設整備計画のものと異なる推定数の算定根拠は。今回の施設整備計画で市内施設でデイサービスを週何回受けられるようになるか。七合、

加茂病院への救命救急センター誘致について

開明の会 浅野一明 議員

ている。また、建設課の窓口にも同様のチラシを常備している。④ 早速対応したいと思う。そのほかにも有益なものがあれば掲載していきたいと思う。

これまでどおり加茂市民をはじめ地域住民の医療を支える病院となるものである。

救命救急センターの検討会議におけるこれまでの議論の中で、救命救急センター併設病院の機能を高度医療のみにするなどという検討は一度もされていない。救命救急センターが加茂病院に併設されることになれば、これまで地域医療において加茂病院が果たしてきた役割に加えて、救急医療や高度医療においても機能が充実され、すばらしい病院となる。

② 救急患者を救急病院でない応急診療所へ搬送することは絶対にならない。

③ 加茂市は、堂々と正論を展開していくのみである。

加茂市介護保険事業計画について

日本共産党 亀山重光 議員

須田地域にもデイサービスセンターが必要と考えるがどうか。介護保険料の負担を軽減するため、一般会計からの繰り入れを行うべきと考えるがどうか。
② 美人の湯は、毎年掃坑工事

が必要としているが、今回の工事費は幾ら増高したのか。注水管の腐食原因は。工事後の源泉湯湯量は。市民参加の運営協議会を設立し、今後の運営を検討していくことを提案する。

答弁 ① 実質待機者は四十人程度と考えている。推計入所者数は過去の特養入所実績を勘案して推計している。デイサービスセンターの単純月平均利用回数は六・二回となる。新たなデイサービスセンター建設をと言われても、厳しい財政状況の中

地域主権改革一括法について

公明党 佐野正三良 議員

質問 ① 去年、五月二日及び八月三十日に公布された、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、その第一次、第二次一括法が、本年の四月までに施行されることになっているようである。国や県との関連性も含め、どのような認識と対応をしているのか。

② 第三平成園の五十床増床後期工事について、国、県の補助事業と年度内の見通しについて尋ねる。

答弁 ① 平成七年に私が市長に就任したときには、地方分権は確立したものとなっていた。したがって、今さら地方分権の強化などと言われても、余りぴんとこなかったのである。新た

では、簡単に手を出せる状況にはない。厳しい財政状況の中では、一般会計の繰り出しは無理である。

② ステンレス管の購入費と合わせて一千三百九十一万二千五百円である。硫化水素ガス、炭酸ガス、塩化ナトリウムにより腐食した。源泉の量は、毎分二十リとなっている。運営協議会で検討するよりは、美人の湯の運営は市民の幸せのためであることを念頭に、責任を持って運営していくべきと考えている。

に来た権限に余り大したものはないように思う。目ぼしいものといえば、クマなどを撃つ許可と花火打ち上げの許可の権限くらいである。

しかし、加わった権限は大したものではないにしても、市町村の地位が強くなったことは確かである。

② 現在、県と協議を進めているところであるが、加茂市から県へ提出済みの平成二十四年度の高齢者施設整備計画により、県は県議会二月定例会に高齢者施設整備費補助金の予算を提案している。これが議決されると補助内定ということになり、加茂市として動き出せることになる。二十三年度において手続きを進めるといことになる。

小野吉太郎議員 逝去



小野吉太郎議員は、一月二十三日午後三時に急逝されました。享年六十七歳。

故小野議員は、平成十一年五月一日から本市議会議員として連続四期およそ十二年の長きにわたり、市政に多大な貢献をされました。

この間、産業建設常任委員長をはじめ各常任委員会、特別委

員会、議会運営委員会の要職を歴任されました。

請願の処理経過と結果

平成二十三年中の議会で採択し市長に送付した請願四件について、その処理経過と結果の報告が今議会でありました。

消雪パイプの敷設

◎中興野地内Ⅱ地盤沈下のおそれがあり、地下水の汲み上げができないため、機械除雪で対応します。

◎上町地内Ⅱ消雪パイプ等の井戸（水源）が混み合っており、

新たな井戸の掘削が困難なため、機械除雪で対応します。

◎上条地内Ⅱ消雪パイプ等の井戸（水源）が混み合っており、新たな井戸の掘削が困難なため、機械除雪で対応します。

旧加茂市と旧七谷村の合併協定書の完全履行

市道広田線については、県道昇格による整備を、倉田丸山線については、県代行事業による整備を引き続き県に要望していきます。



請願・陳情を提出されたい方へ

市民の皆さんは、市の仕事に対して意見や要望を市政に反映させるため、いつでも請願や陳情を市議会議長あてに提出することができます。ただし、議会日程との関係から、定例会7日前に開かれる議会運営委員会の前日（土・日に当たるときは金曜日）午後5時までに受け付けたものを、その定例会で請願は審議し、陳情については参考配付することとしています。なお、請願を提出する場合は、紹介議員が必要（3名以内）ですが、陳情の場合は、必要ありません。

※例 (表紙)

〇〇〇に関する請願
紹介議員 ○○○○印
○○○○印
○○○○印

(本文)

〇〇〇に関する請願

1. 要旨
.....
2. 理由
.....

平成 年 月 日
住所
氏名
加茂市議会議長 様

6月 例会
定例

傍聴してみませんか

加茂市を明るく住みよいまちにしていくため、議会の活動状況を知り、市政の内容を理解することは、大切なことです。

市議会は、誰でも傍聴できます。

皆さんが選んだ議員が皆さんの声を市政に反映する場が議会であり、市民にもっとも身近な審議機関です。

市議会は、毎年三月、六月、九月、十二月に定例会が開かれ、定例会では、市政全般について

一般質問も行われます。このほか、必要により特定の案件を審議する臨時会が開かれます。

次の定例会は、六月ですが、傍聴されるときは、受付簿に氏名などを記入していただくだけで入場できますので、お気軽に傍聴にお出かけください。

傍聴席は、一般席40、車いす席4、記者席8の合計52席となっています。



総務文教常任委員会の現地視察 (上町・紙すき技術保存振興事業)

3月定例会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
2	専決処分の承認 (23年度加茂市一般会計補正予算第27号)	承認
3	専決処分の承認 (23年度加茂市一般会計補正予算第28号)	〃
4	専決処分の承認 (23年度加茂市一般会計補正予算第29号)	〃
5	専決処分の承認 (23年度加茂市水道事業会計補正予算第3号)	〃
6	24年度加茂市一般会計予算	原案可決
7	24年度加茂市国民健康保険特別会計予算	〃
8	24年度加茂市後期高齢者医療特別会計予算	〃
9	24年度加茂市宅地造成事業特別会計予算	〃
10	24年度加茂市下水道事業特別会計予算	〃
11	24年度加茂市介護保険特別会計予算	〃
12	24年度加茂市在宅介護サービス事業特別会計予算	〃
13	24年度加茂市水道事業会計予算	〃
14	23年度加茂市一般会計補正予算 (第30号)	〃
15	23年度加茂市国民健康保険特別会計補正予算 (第4号)	〃
16	23年度加茂市下水道事業特別会計補正予算 (第2号)	〃
17	23年度加茂市介護保険特別会計補正予算 (第2号)	〃
18	23年度加茂市在宅介護サービス事業特別会計補正予算 (第1号)	〃
19	加茂市墓地等の経営の許可に関する条例の制定	〃
20	加茂市における公有地の拡大の推進に関する法律施行令第三条第三項ただし書に規定する区域及び規模を定める条例の制定	〃
21	市税条例の一部改正	〃
22	公民館条例の一部改正	〃
23	図書館条例の一部改正	〃
24	市民福祉交流センター条例の一部改正	〃
25	市営住宅条例の一部改正	〃
26	国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正	〃
27	介護保険条例の一部改正	〃
28	新潟県中越福祉事務組合規約の変更	〃
29	市道路線の変更	〃
30	市道路線の認定	〃
31	24年度加茂市一般会計補正予算 (第1号)	〃
32	24年度加茂市一般会計補正予算 (第2号)	〃
33	23年度加茂市一般会計補正予算 (第31号)	〃

4月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
34	専決処分の承認 (23年度加茂市一般会計補正予算第32号)	承認
35	専決処分の承認 (市税条例の一部改正)	〃
36	専決処分の承認 (都市計画条例の一部改正)	〃
37	24年度加茂市一般会計補正予算 (第3号)	原案可決

連合審査会

各委員会に付託された議案の総括質疑を行うための連合審査会を三月九日に開催しました。最初に平成二十四年度当初予算の概要について説明を受け、その後、各議案について質疑を行いました。

全員協議会

三月九日に全員協議会を開催し、市民福祉交流センター温泉井戸掃坑工事結果と今後の方針、税条例の一部改正に係る専決処分、県立武道館の誘致、三条地域水道用水供給企業団の創設事業再開の四件についてそれぞれ説明を受け、質疑を行いました。

議会日誌

28日	議会運営委員会	月例全員協議会
6月22日	定例市議会	議会だより編集委員会
9日	全員協議会	議会(金沢)
21日	議会運営委員会	
10日	県議定会定期総会(阿賀野)	
20日	議会運営委員会	
24日	臨時市議会	
15日	全国議長会地方財政委員	
21日	医療問題特別委員会と加茂・田上地域の医療を	
15日	会(東京)	
21日	医療問題特別委員会と加茂・田上地域の医療を	
24日	発展させる会との懇談会	

次の定例会は 6月20日(水)から開催の予定です。

